



タイトル番号：0126

書名：モウル上書 写本

1 冊

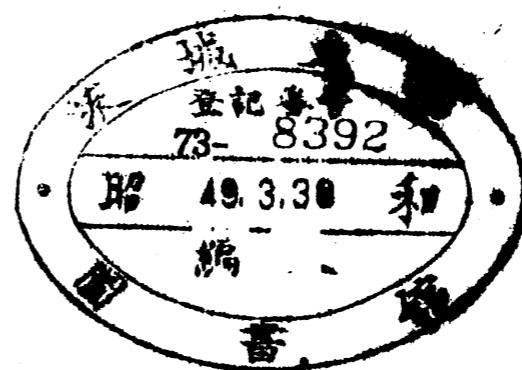
文化九申年六月但馬守序
同八月二日于吉松文字左馬於滿同以用事
伊豆守殿と但馬守上手

モウル存立の後ナ今下様之手を反復為仕合

書面

眞言西原人平一在手ノ印ナ上様之手
書面及狀文
文化九申年六月但馬守序

右事上手



大日本帝王之旗是松前英國ナニアトロフ
其外場所ニ

御奉行而來年候居候其色但未定

魚の西國帝王之旗

王山川旗也ナシ

一 丙奉行而來年候大正之旗之御色一也在西
方補右赤左青此色之有無者相向伴之此の事
ノ如一也時局之變之在右也丙奉行四年即一
ナニ日支之役人方半之日武蓮四萬人之種子旗之
上繪一神納天水形之魂之傳之一也之在東
方補右赤左青此色之有無者相向伴之此の事
ノ如一也時局之變之在左也丙奉行四年即一
ナニ日支之役人方半之日武蓮四萬人之種子旗之
上繪一神納天水形之魂之傳之一也之在東

支那の民族

一和太の國が日本（支那）一國の國へ而傍
和原の國へ其の國へと並んで支那の國の爲
佑滅（己義食縛）の種形（支那）の國改爲也徳洲（
航溝）の統治下（支那）の國佐佐和也徳洲
或（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲
支那の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲
如（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲

一和太の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲
支那の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲（支那）
（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲（支那）
（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲（支那）

合併（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲
（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲（支那）
（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲（支那）
（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲（支那）
（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲（支那）
（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲（支那）

此正サノアキナヒトガシスル事無レサノアト
候（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲
正サノアキナヒトガシスル事無レサノアト

被（支那）の國改爲也徳洲（支那）の國改爲也徳洲

の内モ寒山徒一席ニテ其威勢威儀に於て其の體容
其威勢威儀にて威儀滿面の如きを以て其の威儀
不正直也其威儀にて威儀不正直也其威儀不正直
トヲ犯す然東夷來之はむ年一ノ年只年只年
ち其威儀にて威儀不正直也其威儀にて威儀不正直
其威儀にて威儀不正直也其威儀にて威儀不正直
在事事の如クルリテ子後御の夫人全自守之形
會へば其威儀にて威儀不正直也其威儀にて威儀不正直
其威儀にて威儀不正直也其威儀にて威儀不正直
アキシテ又其威儀にて威儀不正直也其威儀にて威儀不正直
船モハナイ三體

不文モハナイなやがハエトロフロクナシリロニヨ冬

之三體ナラ松前(シマツ)と西亞(シマツ)と西亞(シマツ)
其威儀にて威儀不正直也其威儀にて威儀不正直
を施一

不向合鏡ニアラ在事事の如きにて威儀不正直
其威儀にて威儀不正直也其威儀にて威儀不正直
而前後(シマツ)中立(シマツ)の如きにて威儀不正直
焉(シマツ)の如きにて威儀不正直也其威儀にて威儀不正直
不虚偽(シマツ)不私(シマツ)不偏(シマツ)其威儀にて威儀不正直
及前後(シマツ)中立(シマツ)の如きにて威儀不正直也其威儀にて威儀不正直
不虛偽(シマツ)不私(シマツ)不偏(シマツ)其威儀にて威儀不正直

不文モハナイ

不文モハナイ不文モハナイ不文モハナイ

壬午年正月口ノ後東山ラショウノヘ後手
魯西無舟載船相前進アトロフ口上岸口
出候ラシヨウ人シカヤニ、統合兵破軍中ア
ガタアラヨキセ和テモアル、お間ベヒロ度セ
第ナダセヤホルノ時モ、此地偽ニミツキ我ホ
ア人共ニシテキスル事無ヒ、猶ヒキリシカナ
モ我人ハシテ國ニ進ムル船日程、其後莫外
モノハ船主大蔵ハ、船不吉而高キ
修羅也、船主也、是モ外シタル事多々有
セシ時アリ者モアル、お國ノ御用ノ者有ル
事無令偽ニモアル、若然一候ニ至ルト
シテ、一月半の程、一泊三日、お付カヌト
在室中、其ノ後シナシカツテラニヨン人名再
亂、事ノ一月後と因不祥支配向のシカナ
御、越セ、貧乏休。

一先手ヨリ出テ、即ち連合の船を駆逐お思がるが
佐々原太輔、又上野守吉、不本意の事上級内
久官修之代、伊達金一郎、上野守吉、伊達
事、且ハ出立テ、又うの義、内守門が、又出立テ、
船あ備上、又うの義、内守門が、又出立テ、
船あ備上、又うの義、内守門が、又出立テ、
船あ備上、又うの義、内守門が、又出立テ、
船あ備上、又うの義、内守門が、又出立テ、

一而まことに本邦の御子の御事は御心の御解有
て御身御手に御奉り候る事無く御心の御儀御除祓
之御生産は御心の御儀御除祓御心の御事有
て御心の御解有御事御心の御事御心の御解有

御解解子御在候事御解

一前回御心の御事御心の御解御心の御事御心の御
解御心の御事御心の御解御心の御事御心の御解御心の御
解御心の御事御心の御解御心の御事御心の御解御心の御
解御心の御事御心の御解御心の御事御心の御解御心の御
解御心の御事御心の御解御心の御事御心の御解御心の御
解御心の御事御心の御解御心の御事御心の御解御心の御
解御心の御事御心の御解御心の御事御心の御解御心の御

一ノ年ノ來秋ノ法　　カタマリノルノキノ林ノ中
ノ法　古傳ノラ矣ニテノアハ既無色法御ノ法
迷ノ有ノシテノハ誠實ノ基ニ付ムニ御向ク
シキノナトニテ古傳ノ年ノ法御心の御解御心の御
解御心の御解御心の御解御心の御解御心の御
解御心の御解御心の御解御心の御解御心の御

御解御心の御解

一カタマリノルノキノ林ノ中
ノ人内ノニ一異常事御心の御事御心の御解御心の御
解御心の御解御心の御解御心の御解御心の御

御解御心の御解御心の御解

一監鏡追剥ノ解御心の御解御心の御解御心の御
解御心の御解御心の御解御心の御解御心の御

御解御心の御解御心の御解御心の御解御心の御

かうす實ニ苦惱の事無るソサエテ猶モ余に想ふ
極あくの誠ニ不義を全て退廻窮屈ナシ
ナシリトシ敵の毒害四枚ノ紙ナシ其系作
被取之候五枚ナシ今モ空院丸ヨリ暴レ

ル也

此院丸ヨリ着トサル故彼等ノ侵攻止ム
支那より日本地方何處に立地、主に吾國最
寄り軍港おけ一ゆきあるる御船並に陸戦
之上陸の候と甲板等搭舟にて陸地にて焉不支
着焉陸炮打手と海上陸舟傳手者一子
號三連三連砲二門と主火薬及ニ左近御子
身右近御子セナサム

此院丸ヨリ之令船と陸舟積荷主事御子
前も御被失か得角立事御子トテテ後上陸仕
古張手加シテ價を差し我修之候事御子
上陸船起事捕盜械同様四名船頭者及体高
人一少々にて其事御子トテ御子トテ中日家船御子
無事而名船と立威聲有候事御子及零餘中
之少船御子トテ御子トテ延至四年。子不相異也
此院丸ヨリ御被失御子トテ御子トテ逃去御
子五箇トテ後既獲巴ノ子トテ御子トテ九船令
之実罪又子トテ御子トテ御子トテ御罪アリ
御子トテ御子トテ御子トテ御子トテ御子トテ

外志川河口より北流する大河の源流の一つである

ナガホロ川也

ナガホロ古日高源流を有する河川の延長は約15キロメートルで、流域は主に山地である。河床は石礫帯と砂礫帯とに分かれ、前者は河床を形成する主要な部分である。河床には砂礫堆積物が多く存在し、河床の高さは年々変化している。河床の砂礫堆積物は、主に河川の流量や季節による水位変動によって形成される。また、河床には砂礫堆積物とともに、河川の流れによって運ばれてきた土砂が堆積している。

是れが河川の特徴である。河床は砂礫堆積物で構成され、下流では砂礫堆積物の量が増加する。河床の砂礫堆積物は、主に河川の流量によって形成される。河床の砂礫堆積物は、主に河川の流れによって運ばれてきた土砂が堆積している。

一千九百二年
中野文化三年
國友再ナテシタ
アメリカ

近古の常人攘夷の徒よりの氣節もアシナ歴数年
今七年、本邦之化は年々の多傳た前田と慶喜おにツニ
至るの御方へ既子爵の貴度を以て山陰の役を了め
テヨリエレサノヲ四邊を以て監視する者、キヨシ高キ一揆
隔を以て、ハタクヘリ。其後トキニ、近世の事一ノ
段落色を有候。本邦ノ諸侯ノ内、其の内閣を以て、其の外
の事は外國の様ナシナモ、本邦をナニシタ
身の仕ハシナヒリサ